



2026年度

情報通信の安心安全な利用のための標語

健全なネット社会をめざして

標語大募集

募集期間 2025年12月1日(月)～2026年2月28日(土) 必着

2025年度総務大臣賞

学校部門 皆で一緒に考えよう

情報を 守って使う ネットの輪

(五所川原市立五所川原第三中学校／青森県)

学校として団体応募いただいた場合、参加賞として
応募人数分のクリアファイルを差し上げます
※応募部門は問いません

個人部門 標語で考える情報モラル

磨こうよ フェイクとファクト 見抜く力

(諸田真奈さん／小学生／神奈川県)



(2025年度総務大臣賞)

主催：



情報通信における安心安全推進協議会

後援：



総務省



文部科学省



警察庁



法務省

募集内容

■募集テーマ

情報通信の発展において

- ・「情報通信を安心安全に利用するためのルールやマナー」
- ・「情報セキュリティの意識」を啓発するもの
- ・最近の情報通信の利用において問題となっている事例などを意識したもの

■募集部門

学校部門：学校としての代表作品を選び「学校名」で応募（1学校3作品以内）

※学校部門応募作品も個人部門へ重複して応募できます

個人部門：どなたでも応募可能

■応募方法

●ホームページ「応募フォーム」：<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>

●メール：SSIC-HYOGO@fmmc.or.jp

●はがき：〒105-0001

東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階

一般財団法人マルチメディア振興センター内

「情報通信における安心安全推進協議会」事務局宛



2つの部門へ
応募できます！



情報通信 標語

検索

応募方法詳細は「情報通信における安心安全推進協議会」ホームページをご覧ください

表彰内容

■選考

主催者による選考委員会において入賞作品を決定します

●学校部門

最優秀作品：総務大臣賞 1点

優秀作品：総合通信局長賞・総合通信事務局長賞 11点以内

●個人部門

最優秀作品：総務大臣賞 1点

優秀作品：協議会賞 3点**

PTA関連賞 4点**

ネット社会の健全な発展部会特別賞 2点

企業優秀賞 数点

■入賞

入賞作品は、2026年5月中旬以降「情報通信における安心安全推進協議会」ホームページで発表いたします。（受賞者へは個別にご連絡します）

■表彰

受賞者（総務大臣賞、個人部門）は2026年度総務省「情報通信月間」にあわせ東京都内で開催される表彰式典にご招待**し、表彰状ならびに副賞（商品券等）を贈呈します。

※1 児童部門（小学生）1点、生徒部門（中学生）1点、一般部門1点

※2 日本PTA賞2点、全国PTA賞1点、全国PTA賞1点

※3 表彰式典はオンラインでの開催となる場合があります

標語の活用

入賞作品は、広報・啓発ポスターをはじめ全国各地で実施される各種啓発事業・行事等において幅広く活用いたします。また、e-ネットキャラバン講座内でも紹介させていただきます。

協賛会員企業

Apple Japan, Inc. / 株式会社インターネットイニシアティブ / NTTグループ / KDDI株式会社 / ソフトバンク株式会社 / 日本電気株式会社 / 株式会社日立製作所 / 富士通株式会社 / 楽天モバイル株式会社（五十音順）

協賛会員団体

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 / 一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 / 特定非営利活動法人情報セキュリティ研究所 / 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 / 一般社団法人情報通信政策協会 / 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 / 一般社団法人セーフティーインターネット協会 / 一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会 / 一般社団法人テレコムサービス協会 / 一般社団法人電気通信事業者協会 / 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 / 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 / 一般財団法人日本データ通信協会 / 一般財団法人マルチメディア振興センター / 一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（五十音順）

—お問い合わせ—

一般財団法人マルチメディア振興センター内 情報通信における安心安全推進協議会事務局

TEL 03-6704-5553 Mail cssic@fmmc.or.jp



<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>

■受賞標語は、e-ネットキャラバン講座内でご紹介します。

e-ネットキャラバンは「安心・安全なICT（インターネット）活用」に必要な気づきや広めるための啓発講座です。小学3年生から高校3年生まで6人にその対象者・対象員を対等に全国で年間約2,500回開催されています。

【お問い合わせ】一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局

TEL 03-6704-5553 Mail e-netcaravan@fmmc.or.jp

協議会会員企業・団体名

- Apple Japan, Inc.
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- NTTグループ
- KDDI株式会社
- ソフトバンク株式会社
- 日本電気株式会社
- 株式会社日立製作所
- 富士通株式会社
- 楽天モバイル株式会社

- (一社) 安心ネットづくり促進協議会
- (一社) インターネットコンテンツ審査監視機構
- (特許) 情報セキュリティ研究所
- (一社) 情報通信エンジニアリング協会
- (一社) 情報通信設備協会
- (一社) 情報通信ネットワーク産業協会
- (一社) セーフアーインターネット協会
- (一社) 全国携帯電話販売代理店協会
- (一社) テレコムサービス協会
- (一社) 電気通信事業者協会
- (一社) 日本インターネットプロバイダー協会
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- (一社) 日本データ通信協会
- (一社) マルチメディア振興センター
- (一社) モバイル・コンテンツ・フォーラム

2026年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集

募集期間 2025年12月1日(月)～2026年2月28日(土)

詳細は下記アドレスもしくは二次元コードからご確認ください
<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>

問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門丁四番1号 虎ノ門ビザビル4階
一般財団法人マルチメディア振興センター内 情報通信における安心安全推進協議会事務局
TEL: 03-6704-5553

■入賞標語は「e-ネットキャラバン/講座」内でご紹介しします
※ネットキャラバンとは「安心・安全なインターネット利用」に必要知識を伝えるための啓発活動です。小学生から高校生まで幅広い年齢層を対象に全国で年間約2,500回開催されています。
【お問い合わせ】一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局
TEL: 03-6704-5553 Mail: enetcaravan@fmmc.or.jp

学校の取り組み紹介

情報通信の安心安全な利用のための標語

2025年度の
学校部門受賞校で、
当活動に賛同
いただいた学校の
取り組みを紹介します。

「情報通信における安心安全推進協議会」では、総務省、文部科学省、警察庁、法務省後援のもと、各地域の総合通信局・総合通信事務所、教育委員会等の皆様と連携し、子どもたちの「情報モラル」や「ICTリテラシー」を高めるための取り組みとして、毎年「標語」の募集を行っています。

後援



五所川原市立五所川原第三中学校 (青森県)

標語作成者：(副総大臣賞)三浦 翔流さん (東北総合通信局長賞)神山 明香莉さん

情報を守って使う ネットの輪 総務大臣賞
その言葉 あなたはもらってうれしいの? 東北総合通信局長賞

● 極端なやり取りで育む言葉の表現力

SNSなどに限らず、メールが普及している現状を受け、生徒一人ひとりが情報通信の使い方について日頃の利用実態を振り返りながら考える機会が必要だと感じています。

その中で、本取り組みを通じて、情報モラルの重要性を自分の言葉で表現する練習づくりが有効ではないかと考え、応募することにしました。

この取り組みは主に理科科の授業の中で実施しましたが、生徒にとって身近な問題であることから高い関心を持って取り組みでくれたと感じています。

● 日々の活動が、学校部門ダブル受賞を達成!

本校は「すべての生徒が安全・安心に学校生活を送り、豊かな成長を遂げる学校づくり」をめざし教育活動に取り組み、生徒が情報通信の「便利さ」と同時に「危険性」に目を向けられるよう日々指導しています。

今回は、その学びをもとに情報づくりに取り組み、結果として学校部門総務大臣賞、東北総合通信局長賞の2部門での受賞となりました。本取り組みの功を讃え、子どもたちの意識が向上しより良い行動につながることを期待しています。

● 受賞をきっかけに学校全体の意識が向上

受賞作品を掲載したポスターを校内に掲示したところ、多くの生徒が熱心に目を通すなど情報モラルを考える良いきっかけになりました。また、作成した生徒も「これをきっかけに情報を正しく使う人が増えてほしい」と語り、情報の扱いを「自分たち」として捉える意識が広がっていることを実感しています。

今後も本校の入り口「自慢できる学校」と生徒会スローガン「Passion〜情熱〜」のもと、生徒・教職員・地域社会がワンチームで取り組んでいます。



北海道幕別清陵高等学校 (北海道) 標語作成者：大和田 美穂さん

その言葉 ネットじゃなくても 言えますが

北海道総合通信局長賞

● 積み重ねた歴史との融合により学びの深化

本校は特設7年制の新しい学校ですが、創立100周年を記念して本校の歴史を振り返り「歴史ある校舎の新しい学校」校訓「[真] [実] [愛]」の3つを、地域の中で教育に学び、地域に愛される学校になることをめざし活動しています。

その中で「言葉の力」[真] [実] [愛]の3つを、ルールや約束を守るなどの規範などに積極的に取り組み、生徒一人ひとりの成長に向けて積極的な取り組みの一つであると考え応募しました。

● 言葉の学びから生徒の成長を実感

近年、学校における一人ひとりの個性が尊重され、生徒一人ひとりに正しい使い方を指導する必要性が高まっている中、標語作成は生徒一人ひとりに正しい使い方を指導する必要があると感じています。

「標語」を考えることで、人に伝わる言葉(言葉)を意識し、「自分の体験」を振り返り、「加減の言葉」を使うことで、人に伝わる言葉(言葉)を得ることができ、本校の歴史(歴史)や大人になる力を身につける機会(機会)に、本活動を通して生徒の成長を感じています。

● 地域全体で「地域を支える若者」の育成

本校は地域の方々の思いや力があがり、地域に「地域への人材輩出」や「地域に還元できる教育」を重視し、また、子どもたちの個性や能力が卒業できるような教育を行っています。

今後も「標語」の取り組みを通じて、生徒が考える機会を提供するとともに、一人ひとりの個性の育成と地域に貢献する学校だけでなく地域全体でこれからの地域を支える若者を育てています。



横浜市立みなと総合高等学校 (神奈川県) 標語作成者：米平 彩花さん

画面越し わかぬ事実と 見えぬ顔

西東京総合通信局長賞

● 「伝える」から「考える」への転換により初受賞!

情報モラル教育として、教員の指導や経験による講義など年々進歩しているが、全国的に高校生がSNSトラブルに巻き込まれる事例が多くなっていると感じています。

その中で今回の標語募集を知り、生徒が「考える」ためのツールとして授業に取り入れることが必要のきっかけです。

初めての応募でしたが「教育情報通信局長賞」という素晴らしい賞をいただくことができた。教員も生徒も驚くことに大きな励みとなりました。

● 「標語」を使い、生徒の自主的な学びを創出

本校では「生徒性を磨く」という教育目標のもと、生徒が主体的かつ対外的に学ぶ環境を構築しており、「高等学校DX推進化推進事業(DXハイスクール)」の認定を受けていて、情報科以外でもICTを活用した授業を多く実施しています。

情報モラルに関する学習機会などを生徒に伝え理解してもらうことが非常に重要で、生徒自身が自ら学ぶ(標語)はとて重要なことだと考えています。

今回の受賞経験を生かした今後のモチベーション向上につなげつつ、今後も取り組みたいと思っています。

● 受賞から得た経験を新たなステージへ

今回の作品を作成した生徒は、「ひらめいたものをそのまま」で選んでいましたが、その作品が賞に選ばれたことは生徒にとって大きな自信になったと思います。

「主体的な学び」と「チームの協働」による活動は教育を推進する学校として「自分で考え、自分で行動する力」「自律・共創・挑戦」の精神を大切に、引き続き「標語」などを通して学びの場に向け取り組んでいきたいと思っています。



伊那市立長谷中学校 (長野県) 標語作成者：原 雄輔さん

考えて 面と向かって それ言える?

信越総合通信局長賞

● 継続的な取り組みが生徒のやる気を醸成

本校ではICT教育の一環として標語作成に取り組み、昨年も「信越総合通信局長賞」を受賞しています。

「標語」は生徒が主体的に取り組むやすく、情報モラルに関する学習内容を知識にとどめるだけでなく、自分の言葉で表現することで、学びを深める機会となっています。

生徒たちも、校内に掲示された昨年のポスターを目にする中で「自分もやってみよう」「自分の言葉で表現してみよう」と意欲的に取り組んでいます。

● 人のつながりを大切に活動で個性を伸ばす

本校は小規模で地域の人とのつながりを大切にしています。

今回受賞した「標語」は人のつながりを意識した作品で、そうした土壌があったからこそ、標語づくりの際は、複数の作品を作る生徒、一つの作品にじっくり取り組む生徒など、それぞれの個性や工夫が見られました。子ども同士に意見交換をしながら進めていきました。

同じ児童でも、大人の方が大人数ではなく、子どもの感性だからこそ驚くことができ、一人でも二人にも伝わるのであれば今後も続けていきたいと思います。

● チャレンジで育む主体性、次世代につながる活動に

本校は、教育目標「心豊かに、たくましく、創造力あふれる生徒」のもと、「失敗を恐れず自ら考え取り組む」「常にチャレンジする」姿勢を大切にしています。最近では生徒会活動や生徒主体が担った取り組みに力をつけています。

これまでの受賞はこうした取り組みの成果であり、先輩の受賞が後輩の「次は自分たちが書く」という意識を生む刺激にもなり、今後もこれまでの経験を活かし、情報モラルや表現力を深める場として標語活動をさらに充実させていきます。



～時代(年代)にあわせた内容へリニューアル～

e-ネットキャラバン



無料

これからの社会参加において
ICTリテラシーは年代を問わず不可欠なものです。
e-ネットキャラバンでは、インターネットを安心・安全に、
かつ責任をもって利活用するために必要な
「気づき」を得るための無料講座を全国で開催しています。

～児童・生徒に『より伝わりやすい形へ』～

- ➡ 児童・生徒参加型(対話型)講座へ
- ➡ 動画を用いた視覚的にわかりやすい教材へ
- ➡ 「7つの危険」から「年代毎に絞ったテーマ」へ
- ➡ 現在多く起こっているネット問題を反映
- ➡ 児童・生徒向けのVOD教材は手話版も用意



初級	中級	上級	保護者・教職員
ネットいじめ 誘い出し・なりすまし 脅・悪情報	ネット炎上 ネットの適度な利用 脅・悪情報	ネット炎上 ネットの適度な利用 脅・悪情報 ネットの特性	ネット依存など7つの危険 に加えて、スマートフォンの フィルタリング、家庭内 ルール作りなど
(小学3・4年生)	(小学5・6年生)	(中学1年生～高校3年生)	

※保護者・教職員向け教材も年度内リニューアル予定です

講座開催**3.2万回超** 延べ**541万人**受講

(2006年～2025年3月末現在)

— 申し込み方法等は裏面をご確認ください —

総務省・文部科学省が支援しています



総務省



文部科学省

— 講座申し込み方法 —

— 種類を決める —

e-ネット安心・安全講座		
初級(45分)	中級(45分)	上級(50分)
小学3・4年生	小学5・6年生	中学1年生～高校3年生
e-ネット安心・安全講座(45分～50分) ※Plusの場合は60分		ニセ・誤情報講座(50分) ※ビデオオンデマンドのみ
保護者・教職員		中学1年生～高校3年生 保護者・教職員

— 受講方法を決める —

講師派遣

ビデオオンデマンド

オンライン

児童・生徒向けオンライン講座は2025年9月末で廃止となりました

— ホームページから申し込む —

<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>



注意してください

- ・講座開催は平日のみ、開始時間は原則10時30分以降[※]となります
※講師の移動および会場準備時間確保のため
- ・対面での講座実施が難しい場合には、ビデオオンデマンドでの対応をお願いすることがあります
- ・申し込み可能期間は講座実施月の4か月前～講座実施日の2か月前までとなります
- ・最寄り駅までの送迎にご協力ください

一般財団法人マルチメディア振興センターでは「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集を行っております。詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>



問い合わせ先

一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階

TEL 03-6704-5553 E-mail: e-netcaravan@fmmc.or.jp

マ振企 119 号
令和 7 年 11 月 17 日

文 部 科 学 省 総 合 教 育 政 策 局
男 女 共 同 参 画 共 生 社 会 学 習 ・ 安 全 課
安 全 教 育 推 進 室 推 進 係 御 中

一般財団法人マルチメディア振興センター
(情報通信における安心安全推進協議会)

「情報通信の安心安全な利用のための標語」等の周知協力依頼について

記

「情報通信における安心安全推進協議会」では、子どもたちの情報モラルや ICT リテラシー向上、児童生徒が学び考えるためのきっかけづくり、更には安心・安全に対する意識や知識の醸成を図ることを目的に、文部科学省、総務省、警察庁、法務省の後援を得て『情報通信の安心安全な利用のための標語』の募集を行っております。

本活動は、より多くの学校や先生、児童生徒の皆さんに参加していただくことが大切であり、この度、2026 年度『情報通信の安心安全な利用のための標語』募集告知チラシ（別紙 1）および昨年度の学校部門入賞校の取り組みを紹介する「学校の取り組み紹介冊子」（別紙 2）を作成しました。全国の教育委員会等への配布等、周知協力をお願いいたします。

また、一般財団法人マルチメディア振興センターでは「児童・生徒」「保護者・教職員」を対象とした「安心・安全な ICT 利活用」の啓発推進のための無料講座『e-ネットキャラバン』（別紙 3）の活動も行っており、10 月より時世を反映し学齢・学年にあわせた内容へと教材を刷新いたしました。

本件につきましても同様に周知をお願いいたします。

貴管下関係機関から冊子、チラシの印刷版入手方法について照会があった際には、以下の情報通信における安心安全推進協議会事務局、もしくは e-ネットキャラバン事務局までご連絡いただくようご回答願います。

情報通信における安心安全推進協議会事務局
(一般財団法人マルチメディア振興センター内)

TEL : 03-6704-5553

担当：畑野、渡辺

一般財団法人マルチメディア振興センター
e-ネットキャラバン事務局

TEL : 03-6704-5553

担当：菊池、長田